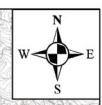


太田川水系逆川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1 説明文

(1) この図は、太田川水系逆川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の逆川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により逆川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 静岡県

(2) 指定年月日 平成29年12月26日

(3) 告示番号 静岡県告示第889号

(4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項

(5) 対象となる水位周知河川
・太田川水系逆川（実施区間）
左岸：掛川市逆川下橋から原野谷川合流点まで
右岸：掛川市千羽下橋から原野谷川合流点まで
太田川流域の24時間の総雨量629.5mm

(6) 指定の前提となる降雨
(7) 関係市町村 掛川市、袋井市

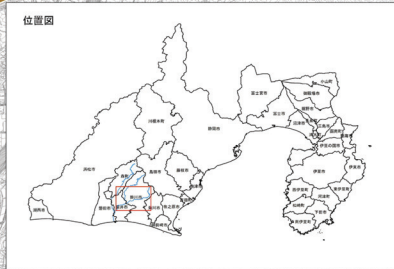
(8) その他の計算条件等

①この図は、逆川の水位周知区間で氾濫した場合の洪水浸水想定区域図を示しています。

②この図は、逆川の原野谷川合流点より上流において、一定の条件で氾濫させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構築物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

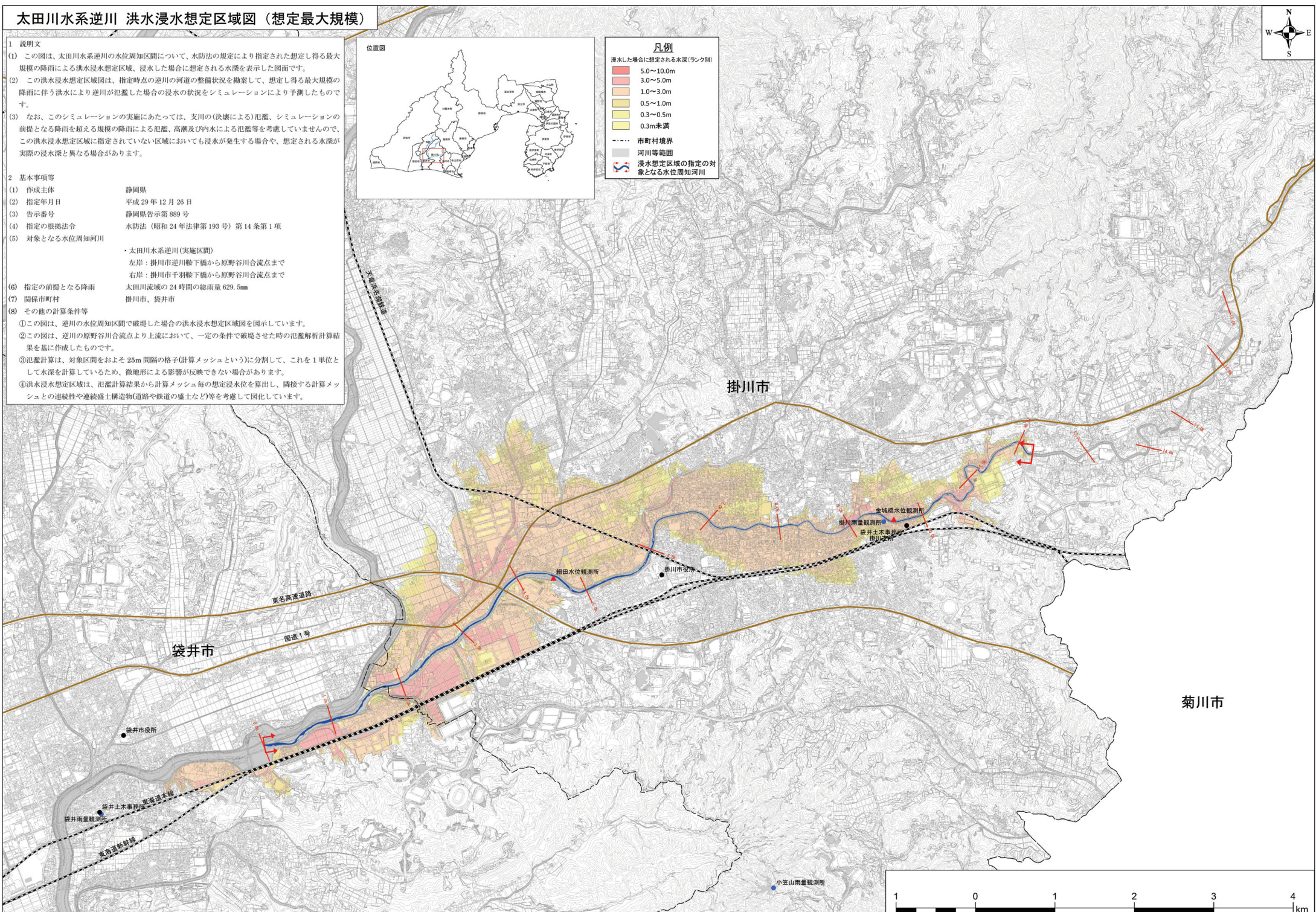


凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

5.0～10.0m
3.0～5.0m
1.0～3.0m
0.5～1.0m
0.3～0.5m
0.3m未満

--- 市町村境界
 〓 河川等範囲
 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



この地図は、磐田市長、掛川市長、袋井市長、森町長の承認を得て、同市町発行の1/2,500地形図を複製し、調整したものである。（承認番号）平成29年度 磐田建計第113号 掛管地第47-2号 袋管計第64号 森建第149号 ※A1判出力時は1:20,000、A3判出力時は1:40,000